

【件 名】	城山川整備工事（その20）その2	【事務所名】	南多摩西部建設事務所	
【工事場所】	東京都八王子市元八王子町二丁目地内	【受注者名】	ロード建設(株)	
【工 期】	令和4年11月24日～令和6年8月22日	【主たる技術者名】	和出野 敦士	

【工事概要】

本工事は、城山川を洪水に強くするための護岸整備を図ると共に、自然環境の保全・再生（魚道整備）や緩傾斜護岸による親水性に配慮した河川工事である。

工事延長 L=357.5m
大型ブロック積、擁壁護岸、緩傾斜護岸工 1箇所

【表彰理由】（※発注者側評価）

本工事は狭隘かつ高低差もある河道内での施工であり、施工困難な現場状況であった。また、護岸構造も大型ブロックが主体であったが、受注者は適切な施工方法により、河積確保を踏まえながら、安全対策を確実に実施した。また、魚道部において通年の水量を監視した結果を踏まえ、水量が乏しい際にも魚類が遡上可能な構造の提案を図るなどより良い川づくりに貢献した。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点
本工事箇所は川幅の狭い現場状況であったが、複数班の同時施工が可能となる施工の段取りを工夫し、効率的な施工を図った。魚道部の施工は通水しながらの施工が困難であることから、70mほどの揚水作業が必要であり、揚水量の管理と吸込み時の騒音防止に苦労した。

◇ 特に工夫した点
現場内の置場が狭いことから仮置きできるブロック数に限りがあるため、施工数量を考慮して、日々搬入数量の調整を工夫した。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感
永年、地元住民が待ち望んでいた管理用通路の開通の際、人々から喜びの言葉を多くいただけた事に達成感を感じられた。また、魚道工の水深確保方策（護床ブロックを一行窪ませて設置など）を提案し、実際に魚類が回遊している状況も確認できた際は河川工事のやりがいを知った。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと
自分の子供やさらにその次の世代まで形として残る構造物を創造する事への喜びや達成感を感じて欲しい。



魚道部施工時
（揚水状況）



魚道部完成時
（水深確保）

状況写真